



S2I2025 ホストファミリー募集案内

米国カリフォルニア州サニーバール市との姉妹都市交流事業

S2I:「エス・トゥ・アイ (Sunnyvale To Iizuka) 2025」で、ホストファミリーをして下さるご家庭を募集します。

今年も20名の生徒と4名の引率者、また、SSCA*スタッフ1名の合計25名が飯塚に滞在します。
2025年6月20日(金)から26日(木)までの6泊7日間、サニーバールからの生徒・引率者への宿泊提供と、滞在中のサポートをしていただける方はぜひご応募ください。滞在中の予定や募集の要領は次の通りです。

*SSCA: Sunnyvale Sister City Association (サニーバール姉妹都市協会)

☆ S2I (エス・トゥ・アイ) Sunnyvale To Iizuka 2025 6泊7日の予定 ☆



▲対面式での自己紹介



月日	飯塚宿泊	日程(変更になる場合もあります)
6月18日(水)	—	サニーバールから羽田へ(東京2泊)
6月20日(金)	○	飯塚着 ホストファミリーと対面式
6月21日(土)	○	週末は各ホストファミリーと過ごします。
6月22日(日)	○	(事前に計画をして、楽しい週末をお過ごしください。)
6月23日(月)	○	市内の中学校、高等学校に登校予定
6月24日(火)	○	市内の中学校、高等学校に登校予定
6月25日(水)	○	市内の中学校、高等学校に登校予定
6月26日(木)	—	飯塚発別府。羽田経由でサニーバールへ

登校の際は、昼食の用意をお願いします。(給食を食べる場合もあります。)

☆ 募集について ☆

次の要領で募集いたします。皆さまのご応募をお待ちしています。

- 募集世帯数** 25世帯(原則として、飯塚市内のご家庭とします。)
- 募集期間** 令和7年1月6日(月)～2月28日(金)
- 応募方法** 別紙「ホストファミリーボランティア申込用紙」にご記入の上、国際政策課までご持参ください。(令和7年2月28日午後5時で締め切ります。)
- その他** ホストファミリー決定通知は、令和7年3月下旬までにお送りします。

▼受け入れ校で書道に挑戦▼



- ※①サニーバール中高生の受け入れ校は、全部で4校の予定です。受け入れをしていただくサニーバール生や引率者が、ご家庭のお子さまと同じ学校へ通えない場合があります。
 - ②お申し込み多数の場合は、中高生のお子さまがおられるご家庭を優先し、国際政策課とSSCAで協議の上、決定します。
 - ③期間中、決められた時間に決められた場所までサニーバール生や引率者の送迎をお願いします。また、臨機応変の対応をお願いすることもあります。
 - ④食事制限のある生徒や引率者の受け入れをお願いすることがあります。
 - ⑤ホストファミリー決定後、事前研修を4回、事後研修を1回予定しています。
- 以上5点をご了承の上、ご応募ください。

《申し込み先・問い合わせ先》 市役所 経済部 国際政策課へ申込用紙を直接ご持参ください。

〒820-8501 飯塚市新立岩5番5号 飯塚市役所 6階 経済部 国際政策課
電話 0948-96-8507 (直通)

🏠 ホストファミリー体験記① (麻生ファミリー)

サニーバール市から来た女の子 Emile と過ごした1週間は、麻生家にとって、とても刺激的で色々な事を学べた日々だったと感じます。

飯塚市とアメリカのサニーバール市が姉妹都市でいてくださるお陰で飯塚に居ながらにして海外の文化を感じながら、自宅にもう1人子どもが増え、賑やかで楽しい時間を過ごす事ができました。

英語がうまく出ない時でもなぜか通じ合ってしまう子ども達を見ていると、ホームステイの受け入れをして本当に良かったと思いました。子ども達が遊んでいる時、極論ですが言葉はいらないと思ってしまう程みんな楽しんでいて、通じ合っています。

こんな機会がないと、アメリカの子と1週間も交流するなんて貴重な体験はできません。この経験は子ども達の視野を広げてくれました。家族で「また来年もホストファミリーをしたいね」と話す程です。**経験は財産**だと改めて感じた1週間でした。



Emilie Westerberg さん (サニーバール中学校)
→穂波西中学校へ登校しました。

🏠 ホストファミリー体験記② (野口ファミリー)



Piper Hayes さん (サニーバール中学校) →嘉穂高等学校へ登校しました。

英語好きな高1の娘と、母である私の夢でもあったホストファミリー体験を初めてさせて頂きました。中2女子 Piper の受け入れが決まってからは、彼女のお母さんとも情報交換しながら今か今かと待ち侘び、対面後は女子ふたりすぐに意気投合。博多へ買い物、クレーンゲームやプリクラを楽しみました。

家族で訪れた居酒屋で Piper は、刺身、鰻の蒲焼き等も喜んで食べ、太宰府で着物をレンタルした際は、いつもよりお喋りになる姿がとても印象的で、嬉しそうに梅ヶ枝餅を頬張っていました。また、娘と一緒に満員電車とバスで登下校し、リアルな日本の日常も垣間見たようです。

この一週間は今までになく**足早で濃密な日々**でした。お別れは寂しかったのですが、彼女が娘のノートに描いて帰った海のイラストが「夢が叶ったね☆また会おうね!」と言っている気がします。素晴らしい機会を与えてくださった国際政策課の方々、支えてくれた家族、友人に心より感謝しています。

エニータイム ホスト ファミリー
©Anytime Host Family 年間を通して「いつでもホストファミリー」の募集

サニーバール市から大人の受け入れをする AEP(アダルトエクスチェンジプログラム)などのように、サニーバール中高生の受け入れ以外でも、ホストファミリーをお願いすることがあります。年間を通して、いつでも受け入れができる方を募集します。

